

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

《ニフレル2周年記念》「生きものとアートにふれる展2017」を開催 9月14日(木) 9:30よりプレスプレビューを行います

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2017年11月19日(日)に開業2周年を迎えるにあたり、9月14日(木)から2018年3月4日(日)までの期間、2周年記念特別企画「生きものとアートにふれる展2017」を開催し、国内外から集まった3組のアーティストとのコラボレーションにより、空間全体を多種多様な作品で彩ります。



生きもの とアート にふれる展

An exhibit of art and life 2017

「生きものとアートにふれる展2017」は、ニフレルで暮らす生きものたちと、そこからインスピレーションを受けたアーティストたちによる作品との、個性豊かなコラボレーション企画です。ニフレルの特徴である空間展示(インスタレーション)とアート作品がフィットした、ニフレルならではの空間演出となっています。

ニフレルでは、2016年にも開業1周年を記念した「生きものとアートの出会い展」を開催しており、アーティストとのコラボによる特別企画の開催は、今回が2回目となります。

【プレスプレビューのご案内】

開催初日の9月14日(木)9:30よりプレスプレビューを開催します。

ご希望の方は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ：NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

【「生きものとアートにふれる展2017」開催概要】

《開催期間》2017年9月14日(木)～2018年3月4日(日)

《料 金》ニフレル入館料に含む

《場 所》館内7つのゾーンのうち3つのゾーン(いろにふれる、すがたにふれる、みずべにふれる)にて、3組のアーティストによる作品を展示し、室内全体を演出します。



①「いろにふれる」×カルノフスキー



展示イメージ



過去の作品事例

《展示場所》1階「いろにふれる」ゾーン

《アーティスト》カルノフスキー (Carnovsky)

《作品タイトル》「The Deep Red, Green and Blue Yonder 深い赤、緑、青、そしてその向こうへ」

《展示内容》全長約23mもの巨大なカーテンに赤・緑・青の3色で描かれた生きものたちが、照明の変化によって見え隠れする作品を設置します。

《アーティストプロフィール》

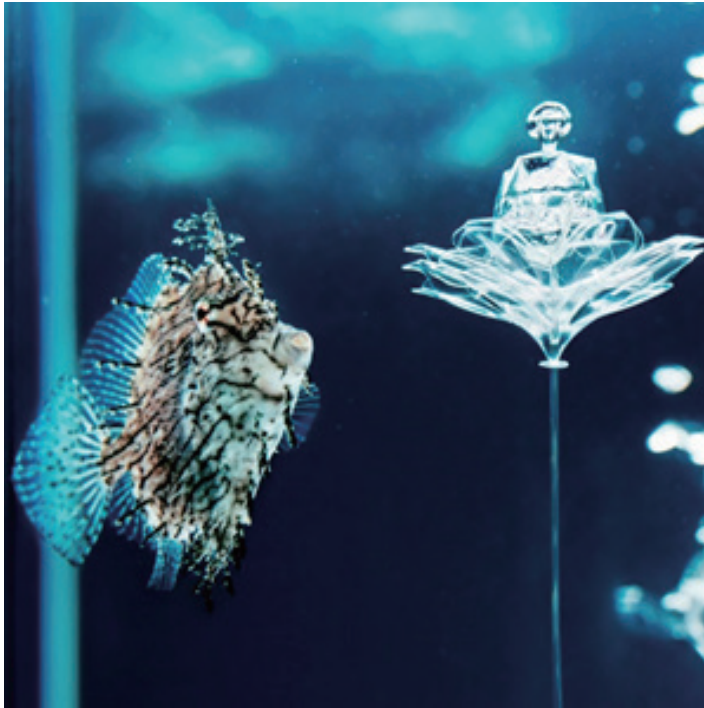
ミラノ出身のアーティストデュオ。

RGBのイラストレーションによる、視覚トリックを活用した作品を代表とする。世界的な大手ブランドとのコラボレーションをはじめ、「Vogue」「Elle Décor」「Wired」などの雑誌で作品を発表し、高い評価を受ける。

主な実績として「adidas」「Missoni」「H.P.FRANCE」等、他多数。



②「すがたにふれる」×小松宏誠^{こまつこうせい}＋三好賢聖^{みよしけんしょう}



展示イメージ



過去の作品事例

《展示場所》1階「すがたにふれる」ゾーン

《アーティスト》小松宏誠、三好賢聖

《作品タイトル》「RAY」(吊り作品)、「PUWANTS」(水槽内作品)

《展示内容》

「RAY」:約500個ものきらめくエイを天井から吊り下げ、キラキラと浮遊感のある空間演出を行います。

「PUWANTS」:透明の植物をかたどった作品が、計6台の水槽の中で、泡の浮力により踊るように動く作品を展示。

《アーティストプロフィール》

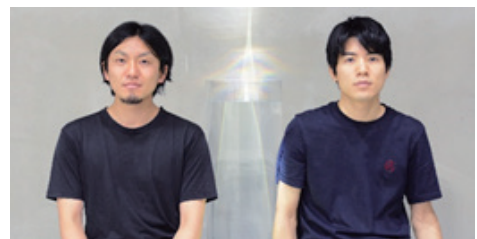
<小松宏誠>

東京藝術大学大学院修了後、アーティストグループのメンバーとして活動、2014年に独立。美術館での作品展示をはじめ、商業施設やコンセプトショップなどの空間演出も多数手がける。主な実績として「LEXUS」「ISSEI MIYAKE」「MIKIMOTO」等、多方面とのコラボレーションや、各地の美術館・アートスペースでの展覧会に参加。

<三好賢聖>

航空宇宙工学を背景にもつデザイナーであり、デザイン研究者。東京大学航空宇宙工学専攻にて学士・修士号を取得した後、現在は英国王立芸術大学院のデザイン研究科にて博士研究を行う。

主な実績として、経産省IPA未踏認定スーパークリエイター。文化庁メディア芸術祭審査委員推薦作品選出。イタリアA'デザインアワード受賞。

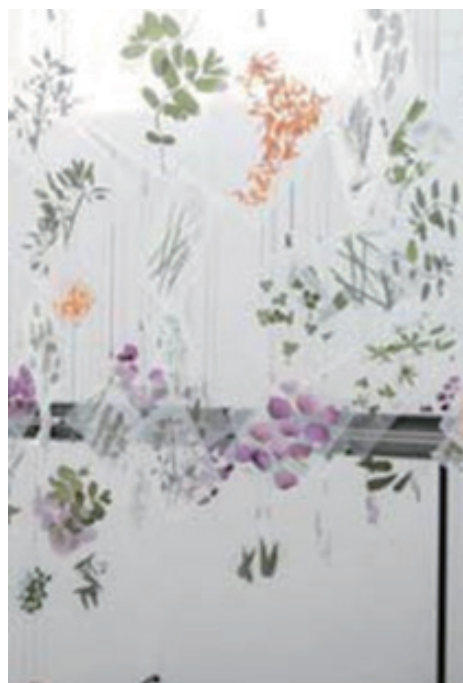


左:小松宏誠 右:三好賢聖

③「みずべにふれる」×プランティカ



展示イメージ



過去の作品事例

《展示場所》2階「みずべにふれる」ゾーン

《アーティスト》プランティカ (plantica)

《作品タイトル》「Natural Geometry」

《展示内容》太陽光が差し込む空間で、花や植物をモチーフにした、合計約200個もの色鮮やかな作品を天井から吊り下げます。

《アーティストプロフィール》

花に関係するアート、ファッション、ライフスタイル、カルチャー…それぞれの領域を繋げながら、スペースデザイン、インスタレーションアート、テキスタイルデザイン、プロダクトデザイン、アートディレクションまで手がけるフラワーアート・ユニット。日本が誇る花文化の現在形を世界へ発信するため、国内外問わず、精力的に活動。

主な実績として「ミラノ国際博覧会(万博)」 「GRAND FRONT OSAKA」にて作品展示等、他多数。



《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10：00～20：00 最終入館は19：00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、スーベニアショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生1,900円、小・中学生1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY 全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

※ 公式ホームページ	http://www.nifrel.jp
※ ツイッター	http://twitter.com/nifrel_official
※ Facebook	http://www.facebook.com/nifrel.jp
※ インスタグラム	http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL